

-----4月9日-----

## 今週のアウトルック(4/9～4/13)

先週はスペイン国債問題の再発などにより、リスク回避的な動きが強い週となりました。

週末には米国雇用統計の予想外の結果により、より一層リスク回避的な動きが加速して終了しています。

今週もこの動きが継続することが予想されますが、どの程度円高が進むのか、判断が分かれるところだと思います。

ドル円は、スペイン国債問題の再発や米国雇用統計の予想外の結果により、81.5円付近まで売られて週末を迎えています。基本的にはリスク回避の円高が、もう一段進みそうですが、消費税法案不成立による円売りリスクも存在するため、一方的な円買いとはならないように思います。有る程度ドル売りが進めば、再びドル買いの動きとなることも十分に考えられるように思います。

ドル円の予想レンジは80.5円から83円です。

ユーロはスペイン国債問題の再発により、先週はユーロ買い戻しトレンドが終了したような動きとなりました。ただ、週末にはこのところのユーロドルの下限となる、1.305をサポートラインとして折り返した感があります。また、米国雇用統計の予想外の結果を契機に、ドル買い戻しトレンドが一旦終了したことも考えられます。

今週ユーロ円は、ユーロドルのドル売り円高が綱引き状態となり、方向感が見出しにくくなるかもしれません。

ユーロ円の予想レンジは106円から109円です。

ポンド円は133円のレジスタンスを突破できずに、一旦調整に入った感じが強いですが、ただ、調整が長引いても127円程度までで終了する可能性が高いのではと考えています。

ポンド円の予想レンジは127円から131円です。

今週は、リスク回避の円高継続が予想される中、消費税法案不成立による円売りリスクも存在するため、方向感を見出しにくい動きとなる可能性も否定できないように思います。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。